

12月定例市議会 市長所信

12月議会が12月7日から22日までの16日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容につきまして、次のとおりです。

市政運営に対する基本姿勢

市民の皆様へ、阿南に「住みたい」「住みやすい」「住んでよかった」と実感していただけるふるさとをつくるために、二つの基本姿勢を掲げたいと思います。

一つめは、郷土のさらなる発展のために「風を読み、積極果敢に攻める行政」をめざします。二つめは、市民一人一人を大切に「やさしさを備えた強い行政」をめざします。

これは、予測の困難な厳しい時代に差しかかっているという現実を認識するとともに、定住自立圏を設定し、それぞれの自治体が既存の枠を超え、お互いのレゾナードル（存在理由・存在意義）を確かめ合いながら、国や県に対して積極的に提言することにより、地域のアイデンティティ（独自性）を高めていこうとするものです。

また、広く市民の皆様方一人一人から寄せいただくご意見が一番大切であり、これが市政運営の基本であるこ

とを常に認識し、より大きな耳でより小さな声までも聞く姿勢を堅持し、市民の皆様の声を尊重していきたいと考えています。

さらに、健全な財政を保持しながら行政能力を向上させることにより、足腰の強い弾力的な行政運営を行うとともに、防災力を高め、災害から市民の命を守り抜く強い行政をめざしていきます。

そして、自治体としての阿南市の礎となる小さな地域や集落に暮らす人々が、豊かで温かな心に包まれて生き生きと輝き、以前のような強い連帯感や一体感を取り戻すため、もう一度原点に立ち戻り、それぞれ生まれ育ったふるさとを見つめ直しながら、お互いの絆を強く感じることができるような地域社会の再生をめざした諸施策を実施していきたいと考えております。

主な施策につきましては、
◎市役所の新庁舎建設事業、新ごみ処理施設建設事業、中学校3校の改築事業、公共下水道事業を所期の目標どおり完了させる。

◎現行の防災計画を早急に見直し、近い将来高い確率で発生が予想される南海・東南海地震に対応可能な新しい防災計画を策定する。

◎本市出身で、全国的また国際的に活躍をされている方々に体験談などを話していただく機会を設ける。

◎各地域の伝統芸能、伝統文化を掘り起こし、市民の共有財産として後世に引き継いでいくための施策を実施する。

◎少子化対策および定住促進の一環として、若者の結婚を促進するための施策を実施し、この阿南の地で新しい人生をスタートさせる機会を設ける。

◎本市の新しい特産であるLEDの用途を開発するため、企業間を結ぶNPO法人を設立してLEDの専門家を養成し、「阿南はLEDのメッカ」と認知されることをめざす。

◎「阿南風景百選」を選定し、これら市内の風景をホームページなどで情報発信し、映画やテレビのロケ地として誘致する。

これらの施策の実現に向け全精力を傾注し、市民の皆様方のご負託にお応



えたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。
※一部省略し掲載しました。

かもだ岬温泉

去る10月29日に開館10周年ならびに名称変更による記念式典と祝賀イベントを開催し、地元の方々をはじめ、花壇整備などのボランティア活動に従事していただきました方々に感謝状を贈呈するとともに、民踊やダンス、手品や人形浄瑠璃芝居、創作劇などの芸能発表をしていただきました。

また、野外行事では、グラウンドゴルフ大会や蒲生田岬を周遊するウォーキング大会などを開催したところ、約1200人の方々に温泉施設へご来場いただき、かもだ岬温泉としての新たなスタートに華を添えていただくことができました。

なかでも、ウォーキング大会には市内外から約250人の方々が参加され、灯台の展望台から望む雄大な自然に四国最東端の蒲生田岬の魅力を感じていただくよい機会となりました。

今後におきましても、蒲生田岬の景観のすばらしさをPRするとともに、併せて四国最東端の温泉・かもだ岬温泉の魅力アピールしていきたいと考えています。

商業振興センターの指定管理者の指定

平成23年度末に現在の指定期間が満了となることから、平成24年度から3年間の指定管理者の候補者を公募しましたところ、現在の管理者のみの応募がありました。

提出された事業計画等をはじめ、適格性を判断するため、二度にわたり候補者選定委員会を開催し、市民サービスと施設の有効活用など、審査基準に基づき総合的に審査を行いました結果、「適する」との判定でした。

そして、今議会で議決をいただいた後、正式に指定の通知を行い、平成24年3月下旬の協定書締結を経て、平成24年度から新たに3年間の管理運営をお願いすることとしています。

中央橋の復旧工事

平成23年9月の台風12号の出水により、橋梁の一部が流失したため、現在も通行が不可能な状況が続いています。中央橋は、深瀬町と加茂町を結ぶ生活道として利用者も多く、周辺地域の重要なアクセス道路と位置付けており、去る10月末に、公共土木施設災害復旧事業として、国の査定を受け、採択されたところでございます。

今後の復旧工事の見通しにつきましては

阿南安芸自動車道「桑野道路・福井道路」

桑野道路については、平成23年度から事業着手され、既に測量・調査立ち入りについての地元説明会を終え、現在、現地測量調査を実施しているところです。

一方、福井道路については、桑野道路とともに都市計画決定はされていますが、まだ事業着手には至っておりません。

しかしながら、市独自の要望活動を精力的に実施してきた結果、国土交通省は平成24年度に新規事業着手する高速道路などの候補に福井道路を選び、平成23年11月11日に開催された国土交通省四国地方整備局の「社会資本整備審議会道路分科会四国地方小委員会」において、福井道路が平成24年度に新規事業着手することを「妥当」と結論づけられ、ようやく福井道路の新規事業化に道筋が見えてきたところです。

福井道路は、平成23年7月16日に全

線開通した日和佐道路との連結区間であり、四国東南部にとつては、ミッシングリンク（失われた環）を解消する、なくてはならない命の道です。

子どもの体力向上重点校支援事業

この事業は、徳島県教育委員会が平成23年3月に策定した「子どもの体力向上アクションプラン」に基づき、体力向上を目的として各校が実態に応じて実施する「学校体育の充実」「運動習慣の確立」「望ましい生活習慣の形成」に関する取組を支援するもので、椿町中学校が総合的取組の重点校として選定されました。

椿町中学校の生徒の体力・運動能力の状況は、持久力が高く、筋力や投能力（投げる力）が弱いという結果になっていることから、授業や部活動のときに補強運動として筋力トレーニングを取り入れることや休憩時間などに自主的にトレーニングができる環境を整える「筋力アップ作戦」の実施、家庭にある身近な物を使用したトレーニング法を紹介したリーフレットの作成および、毎朝10分程度グラウンドを走る「朝のランニングタイム」の確立などを計画しています。

紙面の関係で一部を抜粋し、要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。